報恩講法要並びに秋季永代経法要の御案内

浄土真宗の中興の祖である蓮如上人は、『後生の一大事』という有名な言葉を残されました。「後生」とは「死んだその後の生」のことであり、仏教がまさにこの問いに応える宗教であることを示しています。現在でもよく使われる「後生大事に」という言葉も、実はここから生まれたものです。

「宗教とは、死と死後について説明するものである」――これは、中国哲学者の加地伸行先生のお言葉です。どんな宗教も、そこから「死」のテーマを引いてしまえば、残るのは道徳の授業のような「生き方のルール」だけになってしまう。だからこそ「死後どうなるか」に答えることこそが宗教の核心である、と言われます。

この『後生の一大事』について、当院ともご縁の深い仏教学者の市川良哉先生は『死の不安』と言い換えられました。死への不安を乗り越えることこそが、人生の最優先事項（一大事）であるということです。

自分の力ではどうしても抱えきれないこの不安は、阿弥陀さまのお心、すなわち「ご信心」をいただくことで消えていきます。それはまるで、心の重い荷物を降ろして、残りの人生を軽やかに、安心して過ごせるようになるということです。

どうぞ、お聴聞を重ねて阿弥陀さまのお慈悲にふれてください。

今年も下記の通り、報恩講法要並びに秋季永代経法要を勤修いたします。一人でも多くの方がこの有難いご法縁にお遇いくださいますよう、心よりご案内申し上げます。　合掌

大和郡山市池之内町五二二番地
浄土真宗本願寺派　**西方寺**

記

日　時　令和八年十一月七日（土）　昼座：午後二時～　・　夜座：午後七時～
おつとめ　正信念仏偈
講　師　昼座：浄土真宗本願寺派教蓮寺（山口県）住職　藤谷英信　師
　　夜座：西方寺住職

※　お持ちであれば、経本、念珠、式章を持参ください。

報恩講並びに秋季永代経法要

今年も左記のように報恩講並びに秋季永代経法要を勤修いたします。一人でも多くの方がご法縁にお遇いくださいますよう御案内申し上げます。
来られる方、来たい方がどなたでもお越しいただき、ご法縁にお遇いいただければ幸甚です。

住職　西域哲英

（問合せ不要・平服でお気軽に！）

講師：藤谷英信（ふじたにえいしん）師



ご講師紹介
浄土真宗本願寺派教蓮寺（山口県岩国市）住職
昭和42年岩国市生まれ。
龍谷大学文学部仏教学科卒業（真宗学を専攻）
趣味は映画鑑賞。
好きな音楽はヘビーメタル。
学生時代にバンド活動。

日時：令和８年１１月７日（土）　午後２時　藤谷英信　師
午後７時　西方寺住職

場所：明道山　西方寺
奈良県大和郡山市池之内町 512
電話 0743-52-6483
メール info@saihouji.or.jp
HP　http://www.saihouji.or.jp/

近隣の JA 女性センターが臨時駐車場となりますが、なるべく公共交通機関をご利用ください。